

# 全校生徒に防災講習

南部高校  
龍神分校

## 生徒会役員が指導

田辺市龍神村安井の南部高

校龍神分校は5日、災害発生時に役立てるための講習会を体育館で開いた。このほど防災スクールを受講した生徒会役員が指導役を務め、全校生徒に避難所での間仕切りの設営法などを紹介した。

防災スクールは、地域の高校生にリーダーシップを発揮してもらおうと県教委が8月21日、県内5高校で開いた。龍神分校からは生徒会役員ら6人が田辺高校で、住民への声掛け・聞き取り調査などの災害支援ボランティアを学ん

だ。その時に得た知識を多くの

生徒に知ってもらおうと講習会を企画。間仕切りの設営、急病人や負傷者の搬送、トイレ作りの三つを伝えた。間仕切りは避難所などでプライバシー確保を目的に、1

家族ずつのスペースを段ボールで仕切るもの。組み立て図を配布し、クリップで段ボールをつなげる方法を教えた。体育館の半分に間仕切りを設営し、中に入って居心地を確かめた。

搬送法は、毛布や棒を使っ

人の搬送法などを教える生徒会役員（田辺市龍神村安井で）



てもらって作った。

た担架の作り方、人を背負ったり引きずったりして運ぶ場合のこつを紹介した。マイルドインレは新聞紙2〜4枚を折って作るもので、生徒たちが教

龍神分校には、昨年の紀伊半島豪雨（台風12号）で被災し避難所生活を送った生徒もおり、防災意識を強く持って講習に聞き入った。日高川町の小学校で1カ月半生活した3年生の玉置享司君は「避難所ではプライバシーの確保やトイレで不自由な点があった。万が一の時は、率先して役立ちたい」と話した。

生徒会長の3年大畑滋則君は「すぐに役立てられる内容にしたので、うろ覚えでもいいので身に付けておいてほしい。いざという時、体力のある自分たちが貢献できたら」と話した。

9/8付

紀伊民報 記事より